

地域包括医療実習Ⅲ

科目責任者：山内 かつ代（医学教育学）

I. 前 文

地域包括医療実習も3年目を迎え、学生には「病(Disease)」を診るだけでなく、患者が抱える問題を臓器横断的、かつ「人(Illness)」としての心理・社会的視点から多角的に捉える姿勢が求められる。専門領域の枠を超え、一人の医師として責任を持って診療に関わるための基盤を形成することが本科目の目的である。そのためには、患者や社会に対して「誠実である」とはどのような行動を指すのかを考え、医師としての品格と礼儀を保ちながら、他者を深く理解しようと努める真摯な態度が不可欠である。本実習では、模擬患者とのシミュレーション演習でプライマリ・ケアにおける医療コミュニケーション能力を磨き、患者やご家族、さらにはチーム医療を担う全医療職スタッフとの対話を通じて、信頼関係を築く能力を養う。病を治療する技術のみならず、患者の生活背景や心の内面まで寄り添い、全人的な医療を実践できる「良医」への第一歩を踏み出すことを期待する。なお、本実習は自由選択科目であるが、地域枠入学者は本実習の履修は必須である。

II. 受入可能人数

地域枠学生・地域医療に興味を持つ学生の場合、人数は制限しない。

III. 担当教員

教授	山内 かつ代	(医学教育学)
准教授	橋本 充代	(教育開発・国際交流センター 地域医療教育部門)
准教授	原田 侑典	(総合診療医学)
講師	金子 堅太郎	(教育開発・国際交流センター 地域医療教育部門)
助教	坂本 哲	(総合診療医学)
助教	横瀬 允史	(総合診療医学)
助教	林 有紗	(総合診療医学)
学外指導者	地域医療機関 医師・職員	

IV. 学習内容

回数	月	日	曜日	時限	内 容	担当者	形 式
1	6	2	火	6-7	オリエンテーション 患者中心の医療、地域医療と総合診療	山内 かつ代 横瀬 允史 地域医療教育部門教員	グループ ワーク
2	6	9	火	6-7	在宅医療のコミュニケーションと包括評価	山内 かつ代 原田 侑典 地域医療教育部門教員	グループ ワーク
3	6	16	火	6-7	シミュレーション	山内 かつ代 林 有紗 模擬患者 地域医療教育部門教員	演習
4	6	22	月	4-6	シミュレーション 直前オリエンテーション	山内 かつ代 坂本 哲 模擬患者 地域医療教育部門教員	演習
5	7-8			終日	地域医療機関実習（1日間）	地域医療機関医師・職員	実習
6	9	1	火	5-6	実習報告会準備	地域医療教育部門教員	グループ ワーク

回数	月	日	曜日	時限	内 容	担当者	形 式
7	9	7	月	6-7	実習報告会	地域医療教育部門教員	プレゼン テーション
8	11	7	土	1-3	地域包括医療セミナー（1～4年合同）	地域医療教育部門教員	グループ ワーク

上記以外の各自治体のキャリア形成卒前支援プランに基づくイベントには、対象学生は原則参加とする。

V. 学修の到達目標

- 1) 地域における診療所・病院の役割とニーズについて説明できる。
- 2) シミュレーション演習を通じて医療面接の技法を实践できる。
- 3) 渉猟した医療情報に応じた患者評価、鑑別診断を検討できる。
- 4) 患者や家族へのコミュニケーションスキルを習得できる。
- 5) 診療所・病院でよく見られる疾患について説明できる。

VI. 成績評価の方法・基準

授業、医療機関実習の担当者による評価（45%）、実習記録（5%）、実習レポート（45%）、および実習報告会（5%）等から総合的に評価する。本カリキュラム以外に地域医療に積極的に関心を持ち、自らすすんで実習を行った場合、自己申告することにより評価に反映される。

VII. 使用する教材・資料など

・地域包括医療実習Ⅲテキスト

その他、必要に応じてその都度紹介する。

参考図書：「プライマリ・ケアの理論と実践」日本プライマリ・ケア連合学会 日本医事新報社

「プライマリ・ケア -地域医療の方法-」松岡忠彦・小林只 メディカルサイエンス社

「在宅医療 治し支える医療の概念と実践」横倉義武 中央法規

「Gノート 在宅医療、できることをできるだけ」坂戸慶一郎 羊土社

VIII. 質問への対応方法

科目責任者：山内かつ代（commed@dokkyomed.ac.jp）が対応する。来室は、原則として事前にアポイントメントを取ることを。

IX. 求められる事前学習、事後学習及びそれに必要な時間

事前学習：LMSで配信する予習用資料・課題を実施すること。（30分）

事後学習：実習内容を振り返り、事後課題を実施すること。（30分）

X. コアカリ記号・番号

GE-01-03：患者中心の医療

GE-02-02：地域におけるプライマリケア

GE-02-04：在宅におけるプライマリケア

CS-01-01：医療面接

CS-02-02：臨床推論

CM-01-01：患者・家族への適切なコミュニケーションスキルの活用

IP-01-02：職種間コミュニケーション

IP-02-03： 他職種の理解

XI. 課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法

演習、実習中は都度、指導医、担当者、同僚等よりフィードバックを受ける。提出物は評価コメントとともに返却する。

XII. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養，利他の精神，医師に求められる品格を身につけ，豊かな人間性を育み，他の医療者と協調して，多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	◎
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び，情報・科学技術を活用して，生涯にわたって自ら問題を発見し，解決することができる	○
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と，その中核を担う意味を理解できる	◎
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し，課題解決に向けて行動することができる	
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み，医学・医療の進歩に貢献することができる	

三
学
年